

日本木材学会木質物性研究会 2020 年度 春の講演会 「木質系材料の工業的利用のための物性研究の重要性」

木質材料の物性は、純粹に学問的好奇心の立場のみならず、材料の有効利用の観点からも大変興味深く重要なものであると考えます。そこで、本講演会では、木材の塑性加工や接触温冷感に関する工業的視点からの物性研究や、林産学から林学といった俯瞰的な視点からの物性研究のあり方について、3名の先生方からご講演をいただく講演会を企画いたしました。さらに、講師の先生方をパネラーにお迎えして、木質系材料の工業的利用に向けて必要な研究や観点についてパネルディスカッションを行います。今回はオンライン開催のため、会場まで足を運ぶことが難しい方々でも参加可能ですので、多くの皆様の参加を心からお待ちしております。

主催：(一社)日本木材学会 木質物性研究会

共催：(一社)日本木材学会 居住性研究会

協賛：(公社)日本木材加工技術協会

日時：2021年3月26日(金) 13:30～16:50

会場：オンライン開催(詳細検討中)

内容：「木質系材料の工業的利用のための物性研究の重要性」

〈プログラム(予定)〉

13:30～13:35 開会挨拶・趣旨説明

13:35～14:20 「結論読みの結論知らずー背景や仮定を軽んじていませんか?ー」

京都大学生存圏研究所 金山 公三 氏

14:20～15:05 「木質材料の接触温冷感と熱物性ー伝熱工学の視点から」

鳥取大学工学部 小畑 良洋 氏

15:05～15:20 休憩

15:20～16:05 「木材物性と生物環境物理学」

三重大学大学院生物資源学研究科 中井 毅尚 氏

16:05～16:45 パネルディスカッション(司会:京都大学生存圏研究所 矢野 浩之 氏)

16:45～16:50 閉会挨拶

参加費:無料

定員:100名(事前申込要、先着順)

参加申込:参加申し込みに関する詳細は、決まり次第、木質物性研究会 HP
(http://www.jwrs.org/kenkyu/physical_p/)にて掲載いたします。

【問い合わせ先】

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 三好 由華

E-mail:ymiyoshi@ffpri.affrc.go.jp